

4月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和2年4月末現在〕

令和2年5月12日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、全てで悪化した。

業種別に見ると、製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」全てで悪化した。非製造業では、「景況」は変化がなかったが、「売上高」「収益状況」は悪化した。2・3月に続いて売上高・収益減少等、幅広い業界で新型コロナウイルスの影響を大きく受けた。

景況DI

製造業は、前月比23.1ポイント悪化の-80.8ポイント、非製造業は、前月比で変化なしの-75.0ポイント、全体では、前月比12.0ポイント悪化の-78.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比15.4ポイント悪化の-76.9ポイント、非製造業は、前月比4.2ポイント悪化の-62.5ポイント、全体では、前月比10.0ポイント悪化の-70.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比11.5ポイント悪化の-76.9ポイント、非製造業は、前月比25.0ポイント悪化の-70.8ポイント、全体では、前月比18.0ポイント悪化の-74.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	パン	未曾有のコロナ禍によって組合のみならず業界全体の動きが止まっており、経営状態まで分析できる状態ではない。一刻も早く新型コロナウイルスの終息を願う。
	味噌	
	酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県3月の清酒課税移出数量は、新型コロナウイルスの影響が出始め、清酒全体で対前年同月比77.1%であった。本格焼酎についても対前年同月比80.8%の大幅減少となった。ただし、高級清酒である吟醸酒と純米酒は対前年同月比83%と普通酒よりも落ち込みは少なかった。4月以降は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の影響もあり、さらに落ち込みが大きくなると予想される。清酒の輸出については、新型コロナウイルスのパンデミックにより落ち込みが大きく、2月の輸出数量は対前年同月比70%と大幅に減少した。3・4月と輸出の状況は悪化している。 ○県内当業界について 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言後の営業時間短縮要請の影響により、各酒蔵とも新酒の出荷が止まり非常に厳しい状況である。輸出も同様に止まっている。資金繰りに窮する酒蔵も多く、セーフティネットの融資を申し込み、支払いに対応している。この状態が長引くと、財務弱体な酒蔵の事業継続に懸念が出る。
	納豆	土産用の納豆の売上は、前年同月比約20~30%となり非常に厳しい。スーパーの納豆は、免疫力が高まるとされていることから都市部ほど売れ行きがよく品切れのスーパーも出ている。新型コロナウイルスの影響により先行きが全く見えず、困っている。
	菓子	新型コロナウイルス感染症対策として人の移動が制限されているため、店舗の売上は減少。イベント関係の売上もない。
	漬物	全体的には不変だが、商品別に見ると、キムチ・酢漬・古漬は売上増加。新型コロナウイルスの影響で日持ちのする低価格商品の売上は増加している。
繊維工業	織物	
	袋物	当月より新型コロナウイルスの影響を大きく受け、受注量は減少。来月からの見通しも立たず、社員・パートタイマーを休ませている。新規受注の話すらない。
	衣服	
木材・木製品	製材	・製材品の販売量は大きく落ち込み、製品価格も下落。 ・住宅着工戸数については、消費増税に加え新型コロナウイルスの影響によりさらに状況が悪化。 ・外材については、新型コロナウイルスの影響でコンテナ物流が停滞。 ・プレカットについては、消費増税以降受注量が減少しており、新型コロナウイルスの影響が加わりさらに厳しい状況。 ・建材関係は依然として資材調達が遅れている。 ・素材の価格は下落。
	県北地区プレカット	全く先が読めない。売上は前年同月比50%減少。見積もりの依頼は多いが、加工には至らない。
	県央地区プレカット	大型物件の加工を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により遠方の施主のため工務店との契約が結ばず着工が延期。見積物件が減少しているため、先行きの不透明感はある。
紙・紙加工品	段ボール	当月から中小企業は受注量が減少し、一段と厳しくなってきた。売上は前年同月比約10~20%前後減少した組合員が多く、それ以上に減少した組合員もいる。顧客に製造業の企業を多く持つ我々中小企業は今後ますます厳しくなる。自動車関連の企業は、金土日を休業、中には木金土日を休業としている企業もあり、自ずと我々の受注量も減少。来月は更なる受注量の減少が見込まれる。
印刷	総合	新型コロナウイルスの影響による受注量が減少し、全体的に売上高減少・収益状況悪化・資金繰り悪化・設備操業度低下・業界の景況悪化が続いている。各組合員の取扱品目によって状況に違いはあり、特にイベントチラシ印刷等の影響が大きい。
化学・ゴム	自動車部品	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製 造 業	窯業・土石製品	県央地区石材	
		県西地区石材	
		コンクリート製品	
		焼物	新型コロナウイルスの影響は甚大である。笠間の陶炎祭も延期を余儀なくされ、見込んでいた売上も無くなりどうしていいかわからない組合員が多い。一刻も早く国・県・市等より即効性のある支援をいただきたい。
		生コンクリート	
	鉄鋼・金属	鍍金	景況の状況は、新型コロナウイルスの影響により大きく悪化し、先の見通しが立たない。売上高・設備操業度が前年同月比約20～30%低下。特に、自動車部品関連が半分以上に低下している。また、今まで比較的好調であった建設・住宅関連の部品についても約20～30%低下している。燃料・灯油・ガソリン等の価格については低下している。金属では、亜鉛・ニッケル等の価格は低下しているが、貴金属等は高値のままで推移している。薬品等の価格に大きな変化は無いが、今後については不明。
	一般機器	精密機器	新型コロナウイルスの影響が受注量減少等、徐々に出てきている。年間休日の調整等をして動向を注視していく。
		工業団地	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月と比較してすべて減少となった。全体増減率は前年同月比71%であった。新型コロナウイルスの影響で得意先の営業活動が制限され、国内外の販売量が減少。また、海外調達部品の欠品も発生し、各組合員の受注量は大幅に減少。今後なお一層の受注減少が見込まれ、先行きが全く見えない。
	電気機器	重電	新型コロナウイルスの影響により受注量が大幅に減少。先行きが不安である。組合員は現場作業の企業が大半なため、テレワークを行うことは難しい。
輸送機器	自動車部品	新型コロナウイルスの影響により急激に業績悪化。	
	輸送車両		
その他の製造業			
非 製 造 業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比16.64%減少。新型コロナウイルスの影響で外出自粛が続いているため、量販店(スーパー)等は伸びているが、仲卸業者・買受人は厳しい状況が続いている。現在までに、買受人2件・市場内仲卸業者1件の取り消し申請等があり、今後も厳しい状況である。
		県南地区卸	取扱商品である日用品雑貨(トイレtpーパー・ティッシュ・マスク)等の商品入荷が遅延。新型コロナウイルスの影響等により卸先の需要が大幅に減少し、売上高・収益が悪化。全体的に売上高は前年同月比10～25%減少。
		食品卸売業	当月は野菜・果実合計で前年同月比105%の取扱高となった。野菜に関しては、暖冬により前進傾向にあった。大根・白菜・レタス等が当月中旬ごろから減少気味となり、5月に入ってから冷え込みにより、生育が遅れた野菜の出回りが少なく相場が上昇した。果物に関しては、新型コロナウイルスの影響により若干の単価安で推移。
		セメント卸	袋セメントの出荷袋数は前年同月比約9%減少。左官工事の減少とプレミックス商品への移行等、袋セメントの需要減少が続いている。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非 製 造 業	小売業	
	県北地区共同店舗	売上は前年同月比75.5%、客数は同93.7%となった。緊急事態宣言を受け組合員の売上は二極化し、消費者ニーズのあった店舗の売上は前年同月比338%となり、業種によっては休業要請により売上は大幅に減少。
	県央地区共同店舗	県からの休業要請によりスポーツクラブ・ゲームセンター・英会話スクール・写真店が相次いで休業。その他半数以上の店舗が営業時間短縮を行った。食料品の買い出しは多く、肉屋の売上は前年同月を上回るが、パン屋・焼き鳥屋は前年割れ。衣料品は厳しく売上は前年同月比40%。雑貨も同様に厳しい。飲食店はテイクアウトを開始し好調。本屋・文具・小間物屋はマスク関連商品により売上高は前年同月比150%となった。新型コロナウイルスにより、顧客は目的が無いと買い物をしない傾向が強い。
	県南地区共同店舗	緊急事態宣言・特定警戒地域の発令により、当然ながら売上高・客数ともに最悪の状況となった。一部持ち帰り食品店舗は売上を維持しているが、ショッピングセンター全体では売上が大幅に減少。売上高は前年同月比で、全体73.4%、衣料50.8%、文化品58.5%、食料品65%、飲食97.9%、サービス70.8%となった。
	クレジット	
	家電	新型コロナウイルスの影響により、合同展示会・個展といった販売促進活動の全てが中止。対策として、工夫を個々に行い、家にいる機会が通常より多いことからPCや調理家電等のDM等の配布を行っているが、消費者の購買意欲が下がっており厳しい状況。
	石油	全国に緊急事態宣言が発令されて以降、石油の需要はさらに落ち込み原油価格は下落。そのため、仕入価格が下落しているものの、売上高減少により経営環境は厳しい。また、新型コロナウイルス対策として、営業時間の短縮、対面サービスの一部省略、スタッフのケア等、対応に苦慮している。
	農機具	台風19号の水害による農業機械の被災対策が県北・県央地域で行われ、売上高が増加した組合員も一部いた。
	中古自動車	売上高は前年同月比79.6%、販売台数は同76.5%、販売価格は同104.1%であった。新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛要請により来店客が減少。前年同月比で売上高及び販売台数が大幅に落ち込み、収益も大幅に減少。また、各国のロックダウンにより輸出が停止状態となり、流通市場の動きも鈍くなったことを受け、在庫車の処分も不振に陥り、運転資金の調達に苦慮している状況が続いている。
飲食店	食品流通業界のため、新型コロナウイルスの感染拡大のなかで食のライフラインを担っていることから、売上高は比較的好調。ただ、店舗内で感染の恐れがあるため、防止策を行いながらの店舗営業を強いられている。売上は、家庭での消費が大幅に増加しており、特に生鮮食品・ドライ備蓄品・酒飲料等の売上が好調。	
商店街	水戸	
	筑西	新型コロナウイルスの影響によりすべてが悪化。今後が不安である。
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が89.8%、軽自動車が95.1%となり、普通車・軽自動車ともに減少となった。
	ホテル・旅館	9割以上の組合員の売上高は前年同月比8割以上減少した。キャンセルが続き、緊急事態宣言の発令と相まって、3月から休業している組合員が目立つ。先行きが不透明なため借入もできないまま廃業を検討している組合員が増えている。
建設業	総合	新型コロナウイルスの影響による受注量減少等は他業種のように起こっていない。建設業界は毎年4月・5月・6月は公共工事発注の端境期のためほとんど受注がないため受注減の準備と心構えができてから売り上げがゼロになっても例年通りのためである。もちろんこれはいいことではない。問題は新型コロナウイルスによる経済の混乱の影響がこれからどうなるかである。予測困難なため早期発注になる物件をダンピング受注競争は避けられないと考えられる。
	電気工事	
	管工事	前年度末の発注工事材料の注文が重なり、売上高は増加。業界の変化や新型コロナウイルスの影響は当月時点では特に出していない。
	交通安全施設	
	型枠工事	今年度に入り新型コロナウイルス感染症対策のため、発注者と協議の上、工場を停止する作業所が出てきた。しかも大手ゼネコンの作業所が多く、大規模な工事のため大人数の職場が失われている。この状況が続くと、多くの企業が傷つくのではないだろうか。万一休業せざるを得ない場合でも、早急に保証される制度があれば何とか生き残れると思うので、ご指導のほどよろしく申し上げます。
運輸業	貨物軽自動車運送	当月の組合員数は114名、車輛台数は144台で前月と比較して2名減少、2台減少となった。また、全国連合会での当月の組合員数は7,765名、車輛台数は9,205台で前月と比較して27名減少、31台減少であった。
	県北地区一般貨物	主要顧客の動向は、一部で新型コロナウイルスの影響で出荷が中止となっている。全体的に発送物量が低調になっており厳しい。燃料価格は下落しているが、収益は益々厳しい状況にある。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和2年4月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	その他の非製造業	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	パン	今年度における学校給食実施の機会を夏休み・春休み・冬休みなどを活用し、授業日数確保と同時に給食実施日数も確保したい。
	酒	すべての酒類業者が新型コロナウイルスにより重大な経済的被害を受けており、今後の経営継続に懸念が生じている。行政としての支援を強化していただきたい。
	納豆	新型コロナウイルスに対する支援策を早急にしてほしい。経営が困難になってきているところもある。
	菓子	政府の経済対策をとりあえず早く実施してもらいたい。
	漬物	外食向け、観光品、業務用商品は激減しているため、企業によっては売上の割合の高い企業があり、資金繰りが悪化している。何らかの対策をお願いしたい。
窯業・土石製品	焼物	新型コロナウイルスの影響は甚大である。笠間の陶炎祭も延期を余儀なくされ、見込んでいた売上も無くなりどうしていいかわからない組合員が多い。一刻も早く国・県・市等より即効性のある支援をいただきたい。
鉄鋼・金属	鍍金	売上高の減少に伴う資金繰りの悪化が懸念される。企業継続のための助成金並びに融資等の拡充が早急に望まれる。
輸送機器	自動車部品	緊急かつ容易な助成措置の提供。
小売業	石油	・揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止。 ・新型コロナウイルスの影響による経営環境悪化に対する補償。
	農機具	年度始めの会議や説明会が中止となっている。各種助成事業等の解説付きの内容を教えてくださいと幸いです。
商店街	水戸	・融資の審査が厳しい。 ・家賃補助の手続きの簡素化を希望する。 ・持続化給付金の給付手続きが大変で、特に高齢の方は困っている。 ・県の新型コロナウイルス感染症対策資金貸付金の上限が200万円となっているが、もっと上限を増やしてほしい。
	筑西	頑張りようがないためどうすることもできない。ただ我慢して耐え凌ぐしかない。従業員の給与は会社を運営している者としては果たさなければならない。家賃・電気・ガス料金の支払いは民間企業だからしょうがないとして、せめて水道料金・固定資産税・社会保険料・厚生年金(会社負担分)・消費税等は減免してくれなくては。収入がない状態なのだから現実的に厳しい。今は借入をして凌げるが、今後の資金繰りが悪化した時はどうすることもできないのが現状だ。先々が不安である。
建設業	総合	今年度の公共工事の発注が前年度より下回ることがないように財政措置を講じていただきたい。そしてその発注予定をできるだけ速やかに公告し業界の混乱(ダンピング競争)を避ける対策をお願いしたい。
	型枠工事	今年度に入り新型コロナウイルス感染症対策のため、発注者と協議の上、工場を停止する作業所が出てきた。しかも大手ゼネコンの作業所が多く、大規模な工事のため大人数の職場が失われている。この状況が続くと、多くの企業が傷つくのではないだろうか。万一休業せざるを得ない場合でも、早急に保証される制度があれば何とか生き残れると思うので、ご指導のほどよろしく申し上げます。

月次景況調査 4月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	4月	3月	前月比	4月	3月	前月比	4月	3月	前月比
景 況	▲ 78.0	▲ 66.0	▲ 12.0	▲ 80.8	▲ 57.7	▲ 23.1	▲ 75.0	▲ 75.0	0.0
売 上 高	▲ 70.0	▲ 60.0	▲ 10.0	▲ 76.9	▲ 61.5	▲ 15.4	▲ 62.5	▲ 58.3	▲ 4.2
収 益 状 況	▲ 74.0	▲ 56.0	▲ 18.0	▲ 76.9	▲ 65.4	▲ 11.5	▲ 70.8	▲ 45.8	▲ 25.0
販 売 価 格	▲ 4.0	0.0	▲ 4.0	▲ 7.7	▲ 3.8	▲ 3.9	0.0	4.2	▲ 4.2
取 引 条 件	▲ 32.0	▲ 22.0	▲ 10.0	▲ 38.5	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 4.2

中小企業月次景況調査(令和2年4月)DI値(前年同月比)

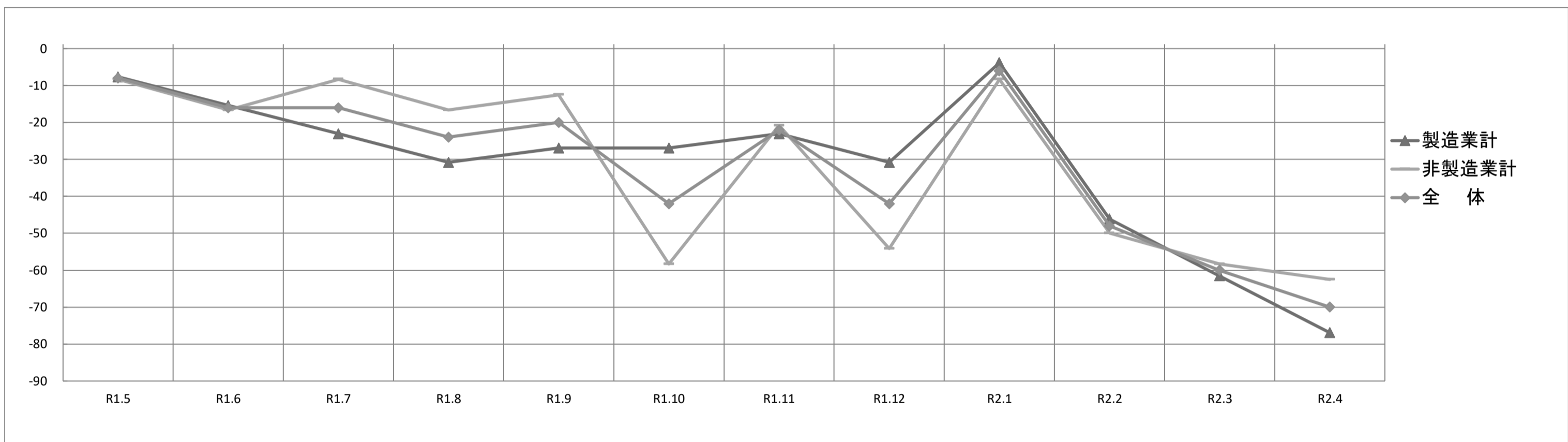
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)														
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数							
製造業	食料品	△ 66.7	0	2	4	6	16.7	2	3	1	6	0.0	0	6	0	6	△ 33.3	0	4	2	6	△ 66.7	0	2	4	6	△ 83.3	0	1	5	6	△ 33.3	0	4	2	6	△ 33.3	0	4	2	6	△ 66.7	0	2	4	6
	繊維工業	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	1	1	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 100.0	0	0	3	3
	木材・木製品	△ 100.0	0	0	3	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 100.0	0	0	3	3
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	印刷	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	化学・ゴム	△ 100.0	0	0	1	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	窯業・土石製品	△ 60.0	0	2	3	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	1	3	1	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 60.0	0	2	3	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 60.0	0	2	3	5
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2
	電気機器	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	1	0	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2
製造業計	△ 76.9	0	6	20	26	△ 19.2	4	13	9	26	△ 7.7	2	20	4	26	△ 38.5	0	16	10	26	△ 76.9	0	6	20	26	△ 61.5	0	10	16	26	△ 42.3	0	15	11	26	△ 23.1	0	20	6	26	△ 80.8	0	5	21	26	
非製造業	卸売業	△ 50.0	1	0	3	4	△ 50.0	0	2	2	4	0.0	1	2	1	4	0.0	0	4	0	4	△ 75.0	0	1	3	4	△ 75.0	0	1	3	4	X	0.0	0	4	0	4	△ 75.0	0	1	3	4				
	小売業 (商店街含む)	△ 63.6	2	0	9	11	0.0	3	5	3	11	9.1	2	8	1	11	△ 45.5	0	6	5	11	△ 72.7	1	1	9	11	△ 90.9	0	1	10	11		△ 27.3	0	8	3	11	△ 81.8	0	2	9	11				
	サービス業	△ 100.0	0	0	2	2	X	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1		2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2			
	建設業	△ 40.0	1	1	3	5		0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0		5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5			
	運輸業	△ 100.0	0	0	2	2		0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1		2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2			
	非製造業計	△ 62.5	4	1	19	24		△ 13.3	3	7	5	15	0.0	3	18	3	24	△ 25.0	0	18	6	24	△ 70.8	1	5	18	24	△ 62.5	0	9	15		24	△ 16.7	0	20	4	24	△ 75.0	0	6	18	24			
全体	△ 70.0	4	7	39	50	△ 17.1	7	20	14	41	△ 4.0	5	38	7	50	△ 32.0	0	34	16	50	△ 74.0	1	11	38	50	△ 62.0	0	19	31	50	△ 42.3	0	15	11	26	△ 20.0	0	40	10	50	△ 78.0	0	11	39	50	

D I 値推移表 (R1.5月 ~ R2.4月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.0	0.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	5.0	▲ 45.0	▲ 60.0	▲ 80.0
製造業計	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 3.8	▲ 46.2	▲ 61.5	▲ 76.9
卸売業	▲ 50.0	▲ 100.0	25.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 25.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 63.6	▲ 27.3	▲ 36.4	0.0	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 63.6
サービス業	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
建設業	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	▲ 20.0	20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 100.0	0.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 58.3	▲ 20.8	▲ 54.2	▲ 8.3	▲ 50.0	▲ 58.3	▲ 62.5
全体	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 42.0	▲ 22.0	▲ 42.0	▲ 6.0	▲ 48.0	▲ 60.0	▲ 70.0

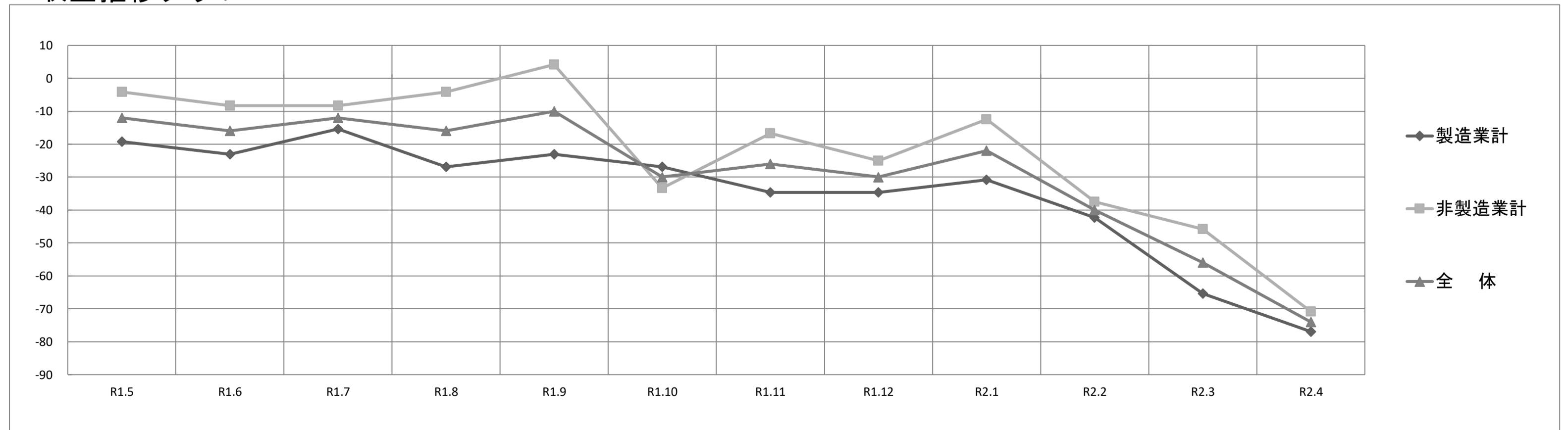
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 65.0	▲ 80.0
製造業計	▲ 19.2	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 42.3	▲ 65.4	▲ 76.9
卸売業	0.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 9.1	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 45.5	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 72.7
サービス業	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0
建設業	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 40.0
運輸業	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 4.2	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 4.2	4.2	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 45.8	▲ 70.8
全体	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 10.0	▲ 30.0	▲ 26.0	▲ 30.0	▲ 22.0	▲ 40.0	▲ 56.0	▲ 74.0

《収益推移グラフ》

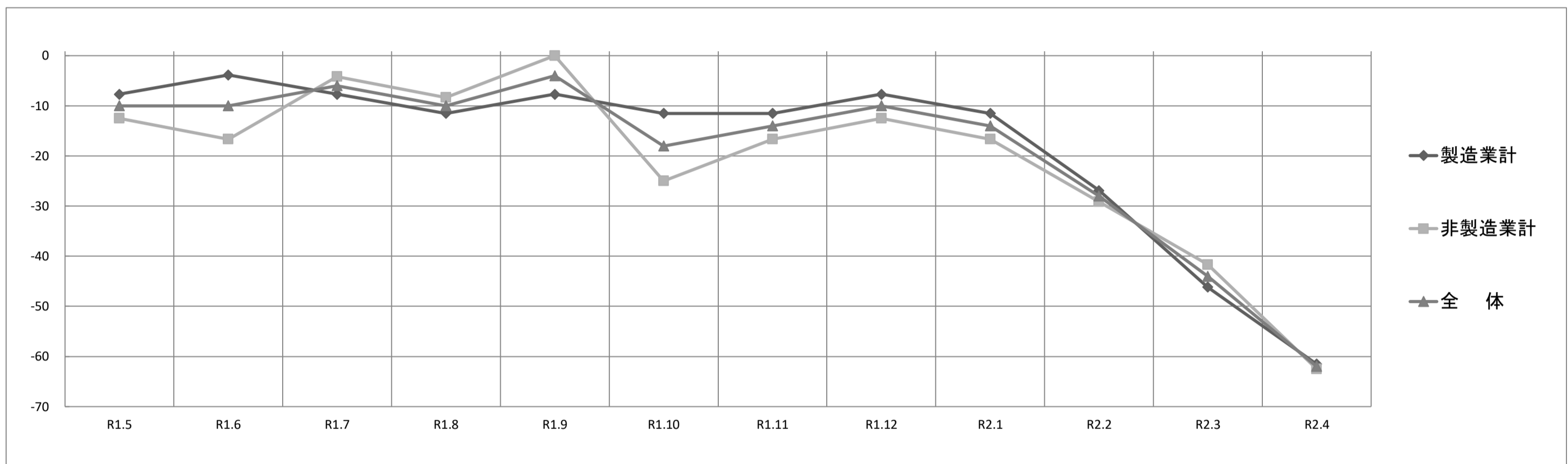


D I 値推移表 (R1.5月 ~ R2.4月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4
食料品製造業	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 83.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 55.0
製造業計	▲ 7.7	▲ 3.8	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 26.9	▲ 46.2	▲ 61.5
卸売業	0.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 75.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 63.6	▲ 90.9
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 8.3	0.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 62.5
全体	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 10.0	▲ 4.0	▲ 18.0	▲ 14.0	▲ 10.0	▲ 14.0	▲ 28.0	▲ 44.0	▲ 62.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4
食料品製造業	0.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 35.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 50.0	▲ 55.0	▲ 85.0
製造業計	▲ 26.9	▲ 19.2	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 50.0	▲ 57.7	▲ 80.8
卸売業	0.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 75.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 81.8
サービス業	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0
建設業	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 75.0
全体	▲ 18.0	▲ 14.0	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 18.0	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 30.0	▲ 28.0	▲ 50.0	▲ 66.0	▲ 78.0

《景況推移グラフ》

